

令和8(2026)年度 とちぎネットアンケート結果

第3回 「食と農業」の持続性への関心について

1 調査目的

農業を取り巻く環境が大きく変化するなか、豊かな食と、それを支える農業を将来につなげていくため、栃木県では「とちぎの食と農業アクションプロジェクト」を展開しています。本調査は、県民の食と農業に対する理解の状況や、関心を寄せる農業への関わり方を伺い、今後のプロジェクトの展開を検討する際の参考とするため、実施するものです。

※「とちぎの食と農業アクションプロジェクト」の概要については、以下に掲載しています。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g01/senryaku/food-agri-ap.html>

(担当課:農政部 農政課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

707名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和8(2026)年6月9日～6月22日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsにより回答

3 回答者属性

回答数 435名 (回答率61.5%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	188	43.2 %
女性	241	55.4 %
未回答	6	1.4 %
計	435	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	11	2.5 %
30代	28	6.4 %
40代	106	24.4 %
50代	118	27.1 %
60代	109	25.1 %
70代以上	63	14.5 %
計	435	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	219	50.3 %
県南	127	29.2 %
県北	89	20.5 %
計	435	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

問1 あなたが、食に関して重視していること(食品の購入や外食をする際に重視していること)はどのようなことですか。当てはまるものを全て選んでください。

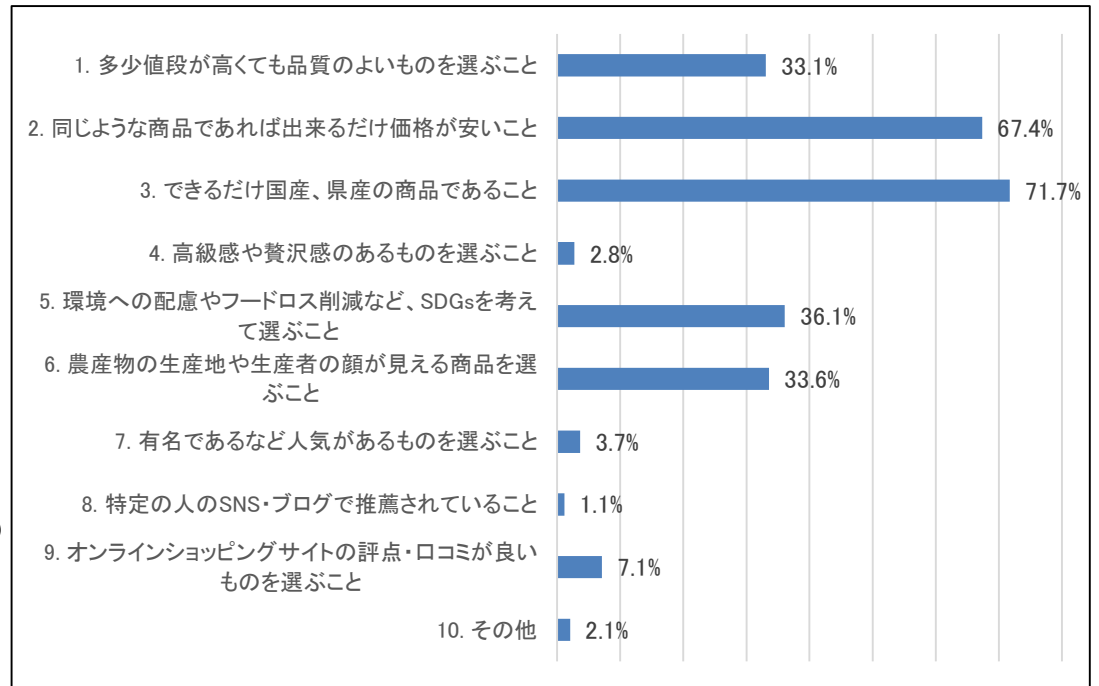
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 多少値段が高くても品質のよいものを選ぶこと	33.1%	144
2 同じような商品であれば出来るだけ価格が安いこと	67.4%	293
3 できるだけ国産、県産の商品であること	71.7%	312
4 高級感や贅沢感のあるものを選ぶこと	2.8%	12
5 環境への配慮やフードロス削減など、SDGsを考えて選ぶこと	36.1%	157
6 農産物の生産地や生産者の顔が見える商品を選ぶこと	33.6%	146
7 有名であるなど人気があるものを選ぶこと	3.7%	16
8 特定の人々のSNS・ブログで推薦されていること	1.1%	5
9 オンラインショッピングサイトの評点・口コミが良いものを選ぶこと	7.1%	31
10 その他	2.1%	9

(n = 435)

【その他の主な意見】

- ・ 添加物が少ないもの



問2 あなたは、今後の農業の持続のために、どのような取組が重要と考えますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

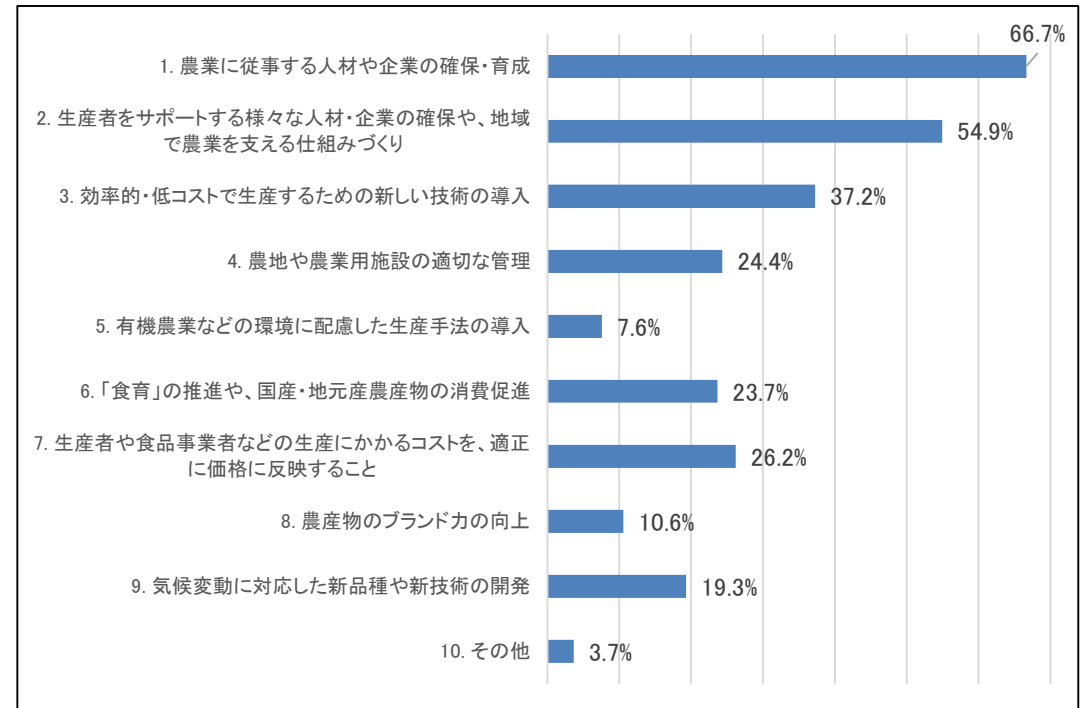
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 農業に従事する人材や企業の確保・育成	66.7%	290
2 生産者をサポートする様々な人材・企業の確保や、地域で農業を支える仕組みづくり	54.9%	239
3 効率的・低コストで生産するための新しい技術の導入	37.2%	162
4 農地や農業用施設の適切な管理	24.4%	106
5 有機農業などの環境に配慮した生産手法の導入	7.6%	33
6 「食育」の推進や、国産・地元産農産物の消費促進	23.7%	103
7 生産者や食品事業者などの生産にかかるコストを、適正に価格に反映すること	26.2%	114
8 農産物のブランド力の向上	10.6%	46
9 気候変動に対応した新品種や新技術の開発	19.3%	84
10 その他	3.7%	16

(n = 435)

【その他の主な意見】

- ・ 繁忙期に手伝い・支援できる仕組みづくり
- ・ 農業で成功されている方からの情報発信



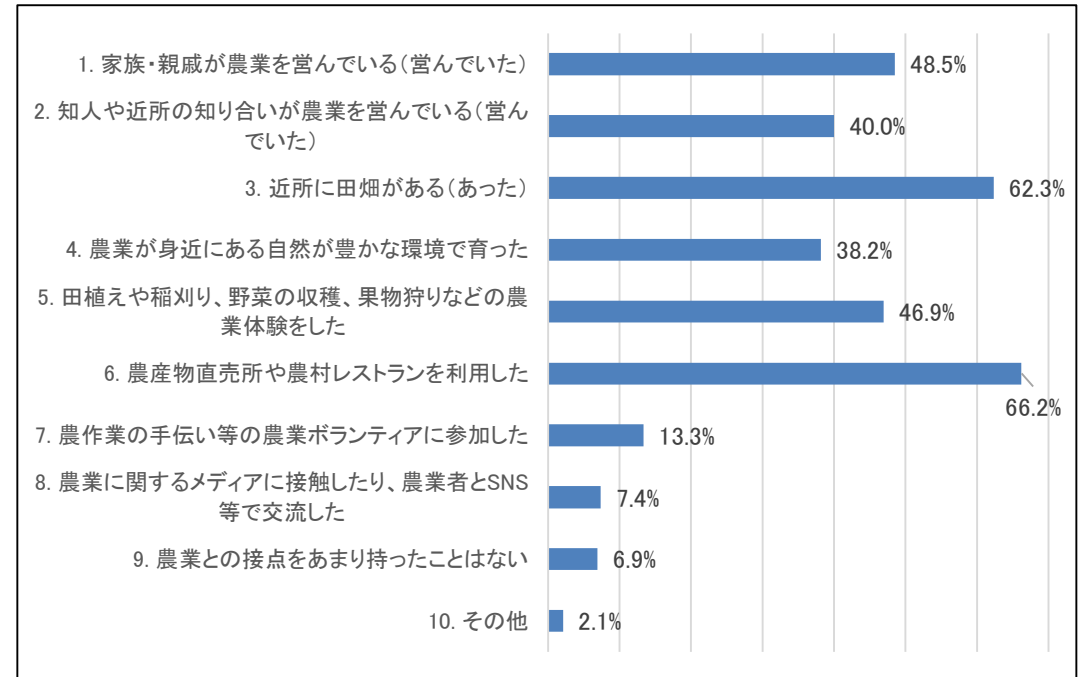
問3 あなたが、これまでに持った農業との接点として、当てはまるものを全て選んでください。
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 家族・親戚が農業を営んでいる(営んでいた)	48.5%	211
2 知人や近所の知り合いが農業を営んでいる(営んでいた)	40.0%	174
3 近所に田畑がある(あった)	62.3%	271
4 農業が身近にある自然が豊かな環境で育った	38.2%	166
5 田植えや稲刈り、野菜の収穫、果物狩りなどの農業体験をした	46.9%	204
6 農産物直売所や農村レストランを利用した	66.2%	288
7 農作業の手伝い等の農業ボランティアに参加した	13.3%	58
8 農業に関するメディアに接触したり、農業者とSNS等で交流した	7.4%	32
9 農業との接点をあまり持ったことはない	6.9%	30
10 その他	2.1%	9

(n = 435)

【その他の主な意見】

- ・ 農業分野で働いていた
- ・ 自身が農業従事者



問4 あなたは、食や農業に関する情報を、主にどこから得ていますか。当てはまるものを全て選んでください。

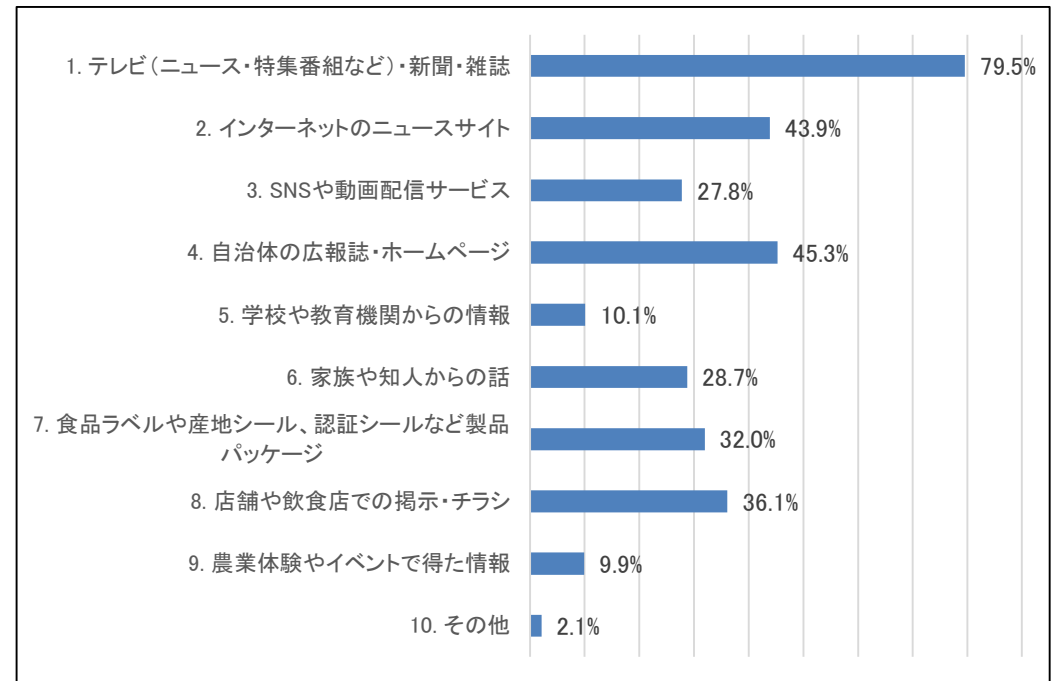
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 テレビ(ニュース・特集番組など)・新聞・雑誌	79.5%	346
2 インターネットのニュースサイト	43.9%	191
3 SNSや動画配信サービス	27.8%	121
4 自治体の広報誌・ホームページ	45.3%	197
5 学校や教育機関からの情報	10.1%	44
6 家族や知人からの話	28.7%	125
7 食品ラベルや産地シール、認証シールなど製品パッケージ	32.0%	139
8 店舗や飲食店での掲示・チラシ	36.1%	157
9 農業体験やイベントで得た情報	9.9%	43
10 その他	2.1%	9

(n = 435)

【その他の主な意見】

- ・ 生協やJAの広報誌
- ・ 直売所



問5 あなたが、現在の日本の農業の課題であると考えるものを全て選んでください。

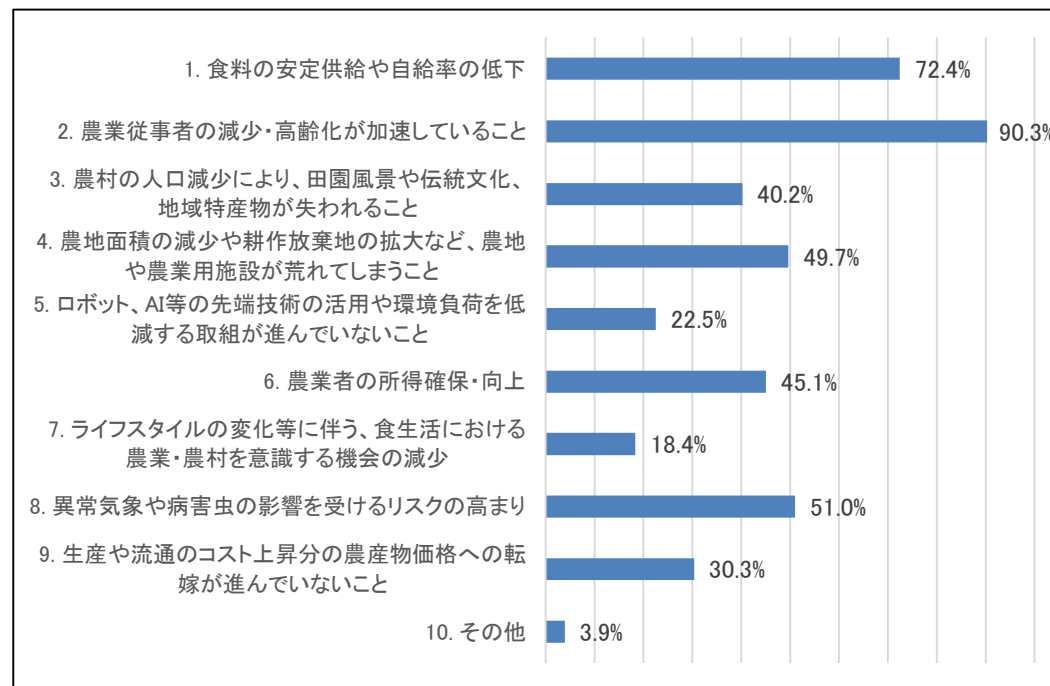
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 食料の安定供給や自給率の低下	72.4%	315
2 農業従事者の減少・高齢化が加速していること	90.3%	393
3 農村の人口減少により、田園風景や伝統文化、地域特産物が失われること	40.2%	175
4 農地面積の減少や耕作放棄地の拡大など、農地や農業用施設が荒れてしまうこと	49.7%	216
5 ロボット、AI等の先端技術の活用や環境負荷を低減する取組が進んでいないこと	22.5%	98
6 農業者の所得確保・向上	45.1%	196
7 ライフスタイルの変化等に伴う、食生活における農業・農村を意識する機会の減少	18.4%	80
8 異常気象や病害虫の影響を受けるリスクの高まり	51.0%	222
9 生産や流通のコスト上昇分の農産物価格への転嫁が進んでいないこと	30.3%	132
10 その他	3.9%	17

(n = 435)

【その他の主な意見】

- ・ 農産物価格が適正となること
- ・ 新規就農者へのサポート

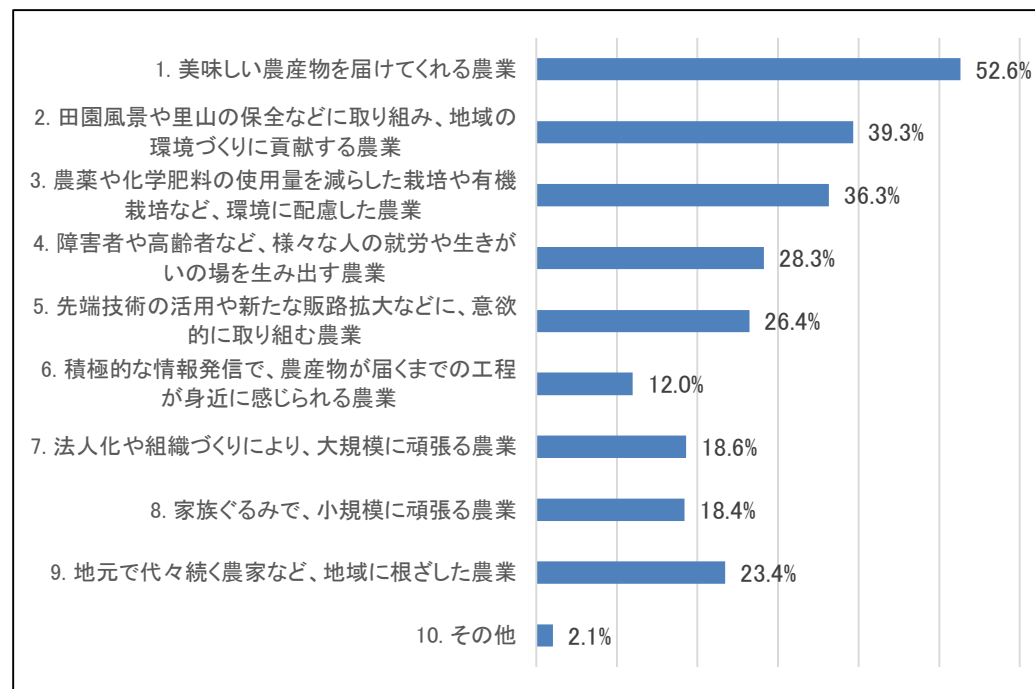


問6 あなたが、応援したいと思う農業とは、どのような農業ですか。当てはまるものを3つまで選んでください。

(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 美味しい農産物を届けてくれる農業	52.6%	229
2 田園風景や里山の保全などに取り組み、地域の環境づくりに貢献する農業	39.3%	171
3 農薬や化学肥料の使用量を減らした栽培や有機栽培など、環境に配慮した農業	36.3%	158
4 障害者や高齢者など、様々な人の就労や生きがいの場を生み出す農業	28.3%	123
5 先端技術の活用や新たな販路拡大などに、意欲的に取り組む農業	26.4%	115
6 積極的な情報発信で、農産物が届くまでの工程が身近に感じられる農業	12.0%	52
7 法人化や組織づくりにより、大規模に頑張る農業	18.6%	81
8 家族ぐるみで、小規模に頑張る農業	18.4%	80
9 地元で代々続く農家など、地域に根ざした農業	23.4%	102
10 その他	2.1%	9

(n = 435)



【その他の主な意見】

- ・ 若者が活躍している農業

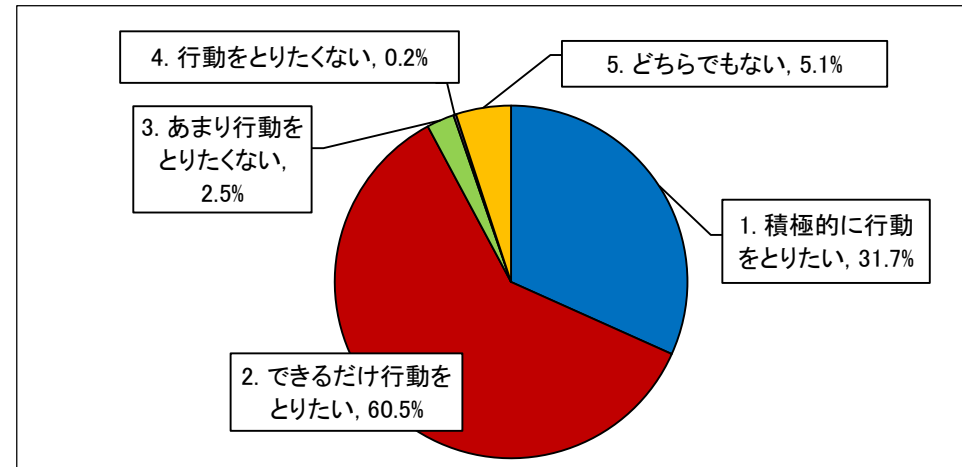
問7 あなたは、栃木県の農業を応援する行動(※)をとりたいと思いますか。

※農業を応援する行動の例: 買い物や外食での県産農産物の消費、地元の農業関係のイベントへの参加

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 積極的に行動をとりたい	31.7%	138
2 できるだけ行動をとりたい	60.5%	263
3 あまり行動をとりたくない	2.5%	11
4 行動をとりたくない	0.2%	1
5 どちらでもない	5.1%	22

(n = 435)



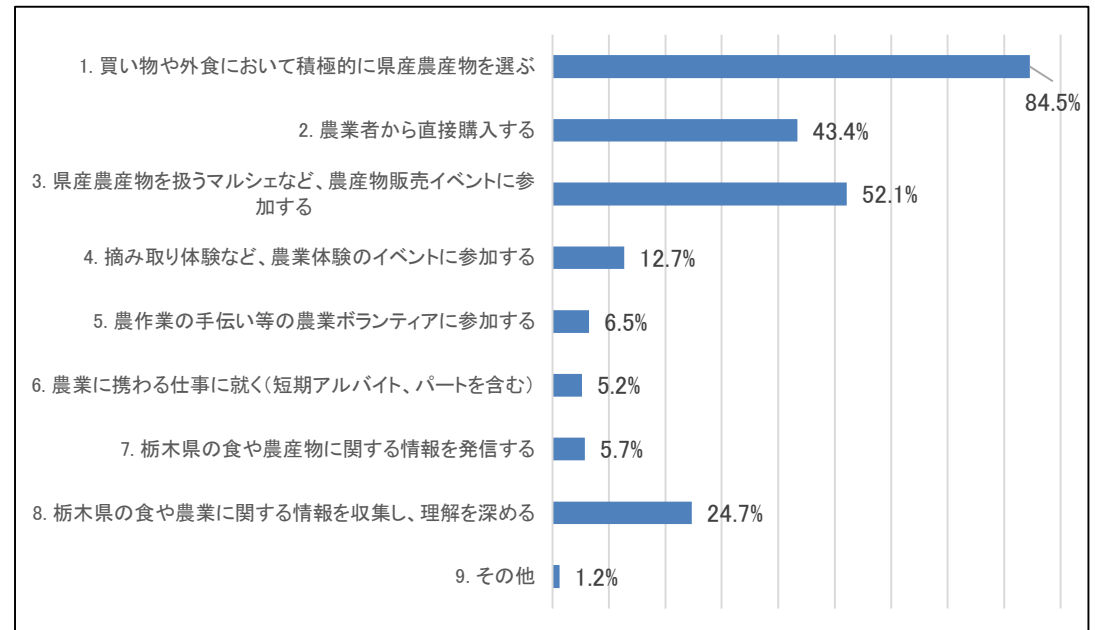
問8 (問7で選択肢1~2を選択した方にお聞きします)

あなたは、栃木県の農業を、どのような行動で応援したいと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 買い物や外食において積極的に県産農産物を選ぶ	84.5%	339
2 農業者から直接購入する	43.4%	174
3 県産農産物を扱うマルシェなど、農産物販売イベントに参加する	52.1%	209
4 摘み取り体験など、農業体験のイベントに参加する	12.7%	51
5 農作業の手伝い等の農業ボランティアに参加する	6.5%	26
6 農業に携わる仕事に就く(短期アルバイト、パートを含む)	5.2%	21
7 栃木県の食や農産物に関する情報を発信する	5.7%	23
8 栃木県の食や農業に関する情報を収集し、理解を深める	24.7%	99
9 その他	1.2%	5

(n = 401)



問9 (問7で選択肢3~4を選択した方にお聞きします)

あなたが、栃木県の農業を応援する行動をとりたくないと思う理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

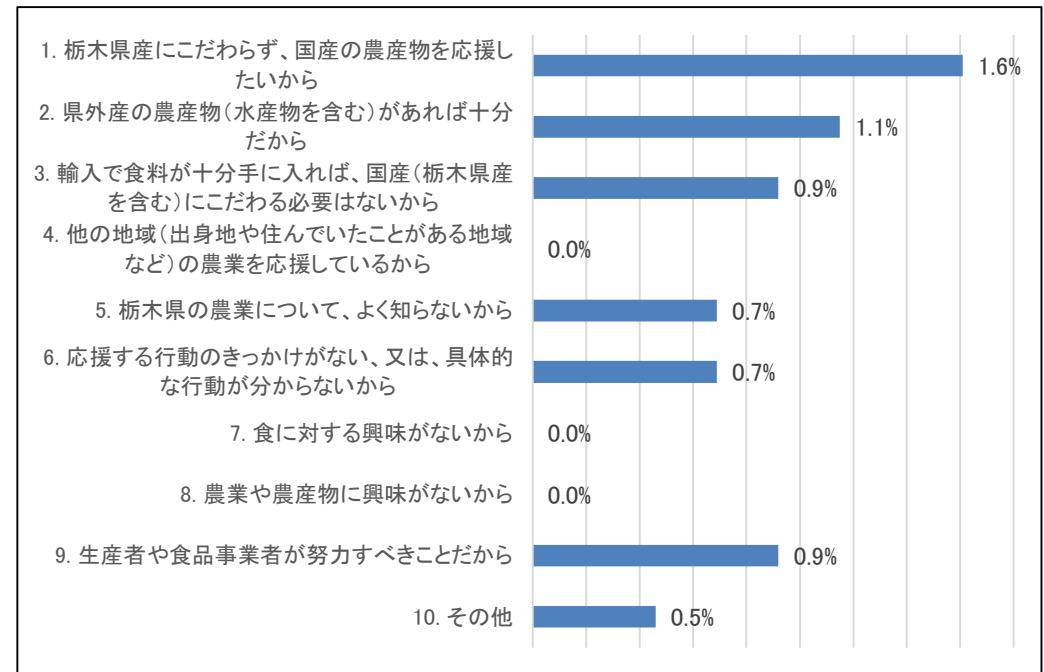
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 栃木県産にこだわらず、国産の農産物を応援したいから	1.6%	7
2 県外産の農産物(水産物を含む)があれば十分だから	1.1%	5
3 輸入で食料が十分手に入れば、国産(栃木県産を含む)にこだわる必要はないから	0.9%	4
4 他の地域(出身地や住んでいたことがある地域など)の農業を応援しているから	0.0%	0
5 栃木県の農業について、よく知らないから	0.7%	3
6 応援する行動のきっかけがない、又は、具体的な行動が分からないから	0.7%	3
7 食に対する興味がないから	0.0%	0
8 農業や農産物に興味がないから	0.0%	0
9 生産者や食品事業者が努力すべきことだから	0.9%	4
10 その他	0.5%	2

(n = 12)

【その他の主な意見】

- ・ 応援ではなく、県内で県内の農産物を食べるのが普通となってほしい



問10 あなたは、食や農業に対して、どのような関わりを持ちたいですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 積極的に国産の農産物を食べることで関わりたい	80.7%	351
2 国産の農産物を積極的に料理で使いたい	64.1%	279
3 SNSなどで農産物のおいしさや農業の魅力を発信したい	11.3%	49
4 農業体験に参加したい	14.9%	65
5 ボランティアでお手伝いしたい	6.7%	29
6 アルバイトなど短期間で必要なときに働きたい	9.0%	39
7 農業法人などに就職して働いてみたい	1.4%	6
8 自分で農業経営してみたい	3.9%	17
9 関わりたいという気持ちはない	3.4%	15
10 その他	2.3%	10

(n = 435)

【その他の主な意見】

- ・ふるさと納税などで応援したい
- ・家庭菜園など身近なことから始めてみたい

